

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)256号				
事業毎の通番		13	市町村名	南木曾町	箇所名(ふりがな)	漆畑拡幅(うるしばたかくふく)3工区			
事業概要	事業目的	木曾郡南木曾町内を通過する本路線は、中央道恵那山トンネルの危険物搭載車両の交通制限区間の代替路線となっているほか、第1次緊急輸送路に指定されているが、曲率半径20m以下の急カーブが連続し、また最急勾配は10%を超え、観光バスなど大型車のすれ違いが困難な状況であり、平成20年度より清内路峠側から順次整備を実施中である。 当該区間は残されたボトルネック箇所となっており、円滑な交通の確保と、生活道路としての快適性・安全性の確保を図るべく、事業を実施する必要がある。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	第9次南木曾町総合計画							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：1,500台/日							
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間		事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	0.9		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=400m、W=6.0(7.5)m				600,000	360,000	216,000	24,000
年度事業内容(主な工種)									
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間経費、等の減少 6億円 災害に強い道路							
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進							
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：なし ○交通結節点アクセス：JR南木曾駅 アクセス道路 ○観光地アクセス：観光地に通じる道路(妻籠宿) ○地域の活性化：木曾地域と伊那谷を結び、観光、商業を支援						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：第9次南木曾町総合計画 ○緊急輸送道路の路線指定：緊急輸送路(1次) ○地域指定：振興山村地域						評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C)：0.9 ○事業期間：4年(H27～H30) ○工法等の比較検討：ルート比較検討を実施予定 ○他事業との連携：なし						評価	C
	緊急性	○近年の交通事故件数：H25:1件 ○危険箇所対策：落石対策施設を設置 ○歩道整備：なし ○道路構造：現況幅員6.0m、縦断勾配7.5%						評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：南木曾町、町議会へ事業説明(H25.9.24) ○地域の取り組み：積極的な取組がある(国道256号改良促進期成同盟会要望あり) ○地域の合意形成：事業目的について、合意形成が図られている(H24.7.20期成同盟会総会) ○住民との協働：なし						評価	B
	部意見	事業の必要性は高いが、計画熟度がやや低い。事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。			評価結果	総合評価	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図

漆畑拡幅(3工区)

漆畑拡幅(1、2工区)

至南木曾町市街

平面図

事業計画区間

至清内路トンネル

【整備の必要性がわかる状況写真等】

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、中央道恵那山トンネルの危険物搭載車両の交通制限区間の代替路線となっているほか、第1次緊急輸送路に指定されているが、曲率半径20m以下の急カーブが連続し、また最急勾配は10%を超え、観光バスなど大型車のすれ違いが困難な状況であり、平成20年度より清内路峠側から順次整備を実施中である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	昭和40年に国道256号改良促進期成同盟会が設立。H13年から毎年、要望が出されている。H25.11.25 国道256号改良促進期成同盟会より、事業着手について要望されている。
③事業説明等の経緯	H24.7.20 国道256号改良促進期成同盟会総会において、事業目的について合意形成が図られている。H25.9.24 南木曾町、町議会へ事業説明を行っている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	リニア中央新幹線事業に関連する路線である。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地域住民の意向に沿ったルート及び工法を検討する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の商業施設等の活性化も期待される。
⑦その他	コストの縮減が期待できる案を採用する。

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 32' 47"
	東経:E 137° 40' 11"